



公明党議員団 江口 清二郎

質疑項目

○未利用地の有効活用について

○システム構築事業者等の選定について

○子育て支援について

ほか

犬と共生ができる街

○19年度、区はペットに関するアンケート調査を実施すると同時に、ペットとの共生を考える懇談会を...



自由民主党議員団 伊東 しんすけ

質疑項目

○地域センターの(仮称)区民活動センターへの転換について

○防災対策について

○住民基本情報システムの再構築と将来対応について

○都市基盤施設と都区財政調整制度について

○その他

(仮称)区民活動センター

○(仮称)区民活動センターの設置条例に必要な項目は何か。

○開館時間、使用条件、

費を計上した他は、施設全体の配置や活用のあり方などを踏まえ、可能な対策を検討していきたい。

○7月に予定される認可保育園分園開設を、旧東中野保育園を修理することで5月に前倒しはできないか。

○要件を充たす運営事業者の選定や、備品購入など、前倒しは難しい状況だが、可能なかぎり努力したい。

○保育所の施設に対する助成や保育ママの対象を就学前まで拡大する厚生労働省の緊急対策を踏まえ、区は、緊急対策として何を行うか。

○これまで民営化による定員増や認証保育所の開設誘致、家庭福祉員の増員を行ってきた。緊急対策としては、認可保育園の分園経

○学校再編と小中一貫校

○学校再編と同時に、校舎一体型の小中一貫校をつくる方向で決定すべきでは

○選択肢としての可能性を除外せず、幅広い検討を行う必要があると考える。

防災対策

○21年度に導入される緊急地震速報システムとは。

○本庁舎、学校施設に導入するシステムで、施設内放送設備に接続し、速報を提供するものである。

○防災資機材の配備計画に、地域防災会へ無線を配備していく予定はあるか。

○役に立つことは認識しているが、現時点では考えていない。

○特別区交付金

○特別区交付金の景気動向による影響は。

○原資となる調整三税のうち、法人収益減により市



無所属 むとつ 有子

質疑項目

○中野区耐震改修促進計画の進捗状況について

○子どもショートステイ事業について

○樹木・樹林・生け垣の保護と助成制度について

ほか

子どもショートステイ事業

○申し込みは利用予定日の原則3日前までだが、出産や急病などによる突発的利用にも対応すべきでは。

○緊急やむを得ない事由があった場合は、施設と協

○区民が誇れる中野区の行政施策について

○公教育の充実について

○ネズミの駆除について

○区民が誇れる行政施策

○にぎわいネットワーク

○町村民税法人分は、約19%の減少を見込んでいる。

○特別区交付金の道路橋梁費の額と、実際に道路・橋梁の維持などに費やした額との差額、7億円は何か。

○単年度ごとに行う都区協議により、単価の改正と加算があったことによる。

○交付金を一般財源に平年化させない対策は。

○財源変動の調整は財政運営の重要な課題である。道路・公園に関する基金を活用しながら財政需要に対応していきたい。

○石神井学園は通学通園に不便だ。阿佐谷に受け入れ可能施設がある。区内母子寮を活用しつつ、区に近い施設に変更すべきでは。

○そのような施設があれば検討したい。

○将来を見据えた取り組みで短期的成果は出にくい。

○区民が誇れる施策を積み重ねていくべきでは。

○基本構想に描く中野のまちの将来像の実現に向け、誇らしいと思える計画づくりに取り組んでいく。

○中野への集客につなげ、評価が高まれば、新たな資本も入り商業も活発になる。

○近年取り組む事業からは、区民生活向上への道のりが見えず、費用対効果が

○低いように思えるがどうか。

○将来を見据えた取り組みで短期的成果は出にくい。

○区民が誇れる施策を積み重ねていくべきでは。

○基本構想に描く中野のまちの将来像の実現に向け、誇らしいと思える計画づくりに取り組んでいく。

○中野の遊戯場不足、運動能力の低下は深刻だ。子どもを安心して思い切り遊ばせられる場所が、区内にもっと必要なのは。

○公園などのほか、自宅から通いやすい場所に子育て広場を整備していく。

○中野駅周辺の再開発に

○楽しむ屋内公園を誘致し、区内の子育て世帯だけでなく、区外からも新たな層を呼び込んではどうか。

○中野駅周辺ではにぎわいの形成を考えているが、民間施設については事業採算性などの判断もあり、特定の業態導入の働きかけは控えるべきと考えている。



無所属 近藤 さえ子

○区民が誇れる中野区の行政施策について

○公教育の充実について

○ネズミの駆除について

○区民が誇れる行政施策

○にぎわいネットワーク

○町村民税法人分は、約19%の減少を見込んでいる。

○特別区交付金の道路橋梁費の額と、実際に道路・橋梁の維持などに費やした額との差額、7億円は何か。

○単年度ごとに行う都区協議により、単価の改正と加算があったことによる。

○交付金を一般財源に平年化させない対策は。

○財源変動の調整は財政運営の重要な課題である。道路・公園に関する基金を活用しながら財政需要に対応していきたい。

○子どもショートステイ事業

○申し込みは利用予定日の原則3日前までだが、出産や急病などによる突発的利用にも対応すべきでは。

○緊急やむを得ない事由があった場合は、施設と協

○将来を見据えた取り組みで短期的成果は出にくい。

○区民が誇れる施策を積み重ねていくべきでは。

○基本構想に描く中野のまちの将来像の実現に向け、誇らしいと思える計画づくりに取り組んでいく。

○中野への集客につなげ、評価が高まれば、新たな資本も入り商業も活発になる。

○近年取り組む事業からは、区民生活向上への道のりが見えず、費用対効果が



無所属 林 まさみ

質疑項目

○政策研究機構について

○学校教育について

○特別支援教育

○巡回指導員を3から4

○増やし、子どものLDな

○どの把握に努めているが、

○教育に対する指導はどうか。

○特別支援教育は、一人ひとりの教育ニーズの把握、

○持てる能力の向上、学習上の困難克服を目的としてい

○巡回指導員は、学校を巡回することで、気になる

○子どもの特徴や、そのための指導方法を助言している。

○LD、ADHDなど発

○達的な問題に関する相談は、

○前年度585件も寄せられ

○た。区の今後の対応は。

○巡回相談などにより、

○個別に細かく指導するため、

○さまざま手立てをこれか

○らも考えていく。

中野区議会は、虚礼等の廃止を決議しています

- 贈らない
求めない
受け取らない

虚礼等廃止の主な事項

- 時候の挨拶状の送付
●中元等の贈答
●慶事、弔事についての廃止事項
① 祝儀、香典、供花の贈与
② 祝電及び弔電等の発送
●病気等の見舞における金品等の贈与
●新聞、雑誌、名簿、掲示板等への広告
●各種行事・各種団体に対する寄付・カンパ、祝儀、祝電、金品等の贈与等

本人または配偶者が出席する場合は、会費相当額を限度とする。

